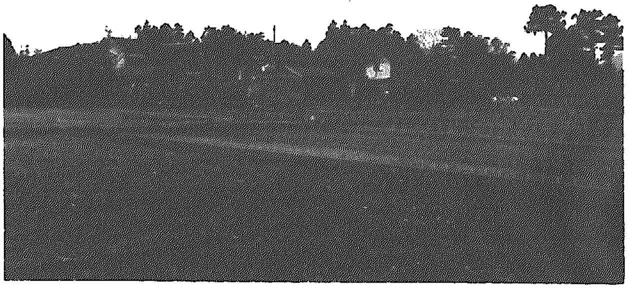
シリーズ23

原（はら）

農業を通した深い絆

今月のおじゃまします。地域情報ネットワークは、位置的には、南に吉田町本町と隣接し、東にJR越後線、西に県道五千石巻新潟線に挟まれて、岩室村を代表する米生産基地として、活気に溢れる大字原地区におじゃましました。

この原地区は、現在人口130人、世帯26戸で地域規模からみれば小じんまりとしているものの、昔から米づくりが盛んなところで、稲作経営耕地の集約化、大規模化が最も進んでおり、岩室村一番を誇っている地区でもあります。また、つい最近までこの地で開業していた金子外科医院は〝原の金子さん〟として古くから親しまれ、〝和納から野原をこえて原へ〟と一度は出かけた思い出をもつ人も案外多いのではないでしょうか。



農業が基幹産業の原集落。地区周辺には転作田が広がる。

「この地区はね、米づくりにかけては、ものすごい情熱をもっているんですよ。8ヘクタール以上の耕作が二戸、平均耕作面積は約4.5ヘクタール位です。いわば、米づくりがまとまりの絆といっても過言でないでしょうね。だから、若手で組織する農事研究会の活動は活発で、毎年、先進地視察や各種研修会を行っていますし、うまい米づくり競作会にはいつも上位入賞するなどして着実に実績をふんでいます。こんな力というか、息吹が、地区を興す力と結びついているんだと思います。」と区長の木村一治さん（50歳）は大字原を説明してくれました。

それにしても、区長さん自身も若いですねと水を向けると、「昨年までは村内で一番若かったんですよ。若いだけがいいとは思いませんが、まあ、自分なりに努力をしながら、いろいろ学ばせてもらっています。こんな立場にいると少しは地区がみえるようになってきましたね。」と謙虚に話す区長さん。

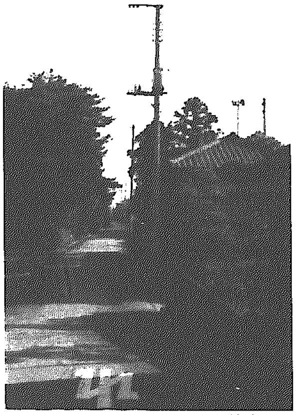
この地区を通って気づいたことは何かありませんか、と逆に聞かれ言葉に詰ってしまいました。そのことは、集落内道路が全て直線に拡幅舗装され、すっきりとした家並みと、十字路がなく、ほとんどがT字の交差点になっているということです。巡ってみると、なるほど主要な道筋はそうなっており、ふしぎ発見でした。

原区長
木村一治さん
（50歳）

米づくりに対する情熱とは裏腹に、どうにもはっきりしない農業情勢に「この地区でも複合経営への模索もはじまってきているようですが、とにかく、将来に展望する農業のみちしるべがないとね……。特に後継者というか、それに付随する問題も決して小さくありませんから。」とチョット心配そうです。

なんといっても胸を張れる自慢は、時間を守ることが徹底していることだそうです。これらも他人に迷惑をかけないという、思いやりと互恵の心が生きづいていることの証明でもあるような気がいたします。

四つの大きな自慢をもった、すばらしい地区、大字原でした。



地区内を走る幹線道、交差点はすべてT字路という原地区。

原地区ミニデータ

（人口と世帯）

人口	130人
男	62人
女	68人
世帯数	26世帯

（平成2年1月1日現在）

▼参加者募集

第7回 村民バドミントン大会

ことしも、村民バドミントン大会が開かれます。ふるってご参加ください。

■とき…2月18日（日）午前9時から開会式 ■ところ…村民体育館 ■対象…①村民一般男女ダブルス②小学生の部（4年生以上）シングルス ■申込み…一般は当日でも可、小学生は事前に申込みください。

第2回 男女混合バレーボール大会

冬場の体力増進に、バレーボールでいい汗を流してみませんか。

■とき…2月25日（日）午前9時開会式 ■ところ…村民体育館 ■対象…男女混合9人制（男性4人女性5人以上）■申込み…村民及び村内在勤者でチームを編成し公民館までお申し込みください

※なお、競技についての詳しいお問い合わせは、公民館（☎82—四四四四）までどうぞ。

今月の納税

国民健康保険税 第4期 納期限は2月28日です

■広報いわむろ 第三三四号 平成二年（一九九〇年）二月一日発行（毎月一回一日発行） ■発行 岩室村役場 ■編集 総務課 ■新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇（〒九五三—〇一） ■☎〇二五六—八二—四一一一(代) ■印刷 北洋印刷(株)